

# 保健福祉局の体制強化

## 【考え方】

新型コロナウイルス感染症の更なる拡大に備え、  
組織体制を強化

### ●強化ポイント①

医療対策の専門部署を、本庁(政策部門)と保健所  
(現場対応)に設置

【本 庁】新型コロナウイルス感染症医療政策部

【保健所】新型コロナウイルス感染症医療対策部

### ●強化ポイント②

保健所業務の効率化のためのアウトソーシングの推進

# 強化ポイント①

# 専門部署の設置

【本庁】

保健衛生課 16名

新型コロナウイルス対策  
担当ライン 17名

	部長	課長	係長	係員	合計
本務	1	3	2	6	12
兼務	1	1	3		5
合計	2	4	5	6	17

拡充  
(7名増)

保健衛生課 16名

新型コロナウイルス感染症医療政策部  
感染症医療政策課 **24名**

	部長	課長	係長	係員	合計	増減
本務	1	3	6	11	21	9
兼務	1	2			3	-2
合計	2	5	6	11	24	7

【保健所】

保健予防課 16名

新型コロナウイルス対策  
担当ライン 94名

	部長	課長	係長	係員	合計
本務	1	2	4	1	8
兼務	1	1	19	65	86
合計	2	3	23	66	94

拡充  
(20名増)

保健予防課 16名

新型コロナウイルス感染症医療対策部  
感染症医療対策課 **114名**

	部長	課長	係長	係員	合計	増減
本務	1	3	7	5	16	8
兼務	1	6	29	62	98	12
合計	2	9	36	67	114	20

## 強化ポイント② 業務のアウトソーシング

### ● 保健所業務の効率化のためのアウトソーシングの推進

#### ①患者や濃厚接触者、PCR検査数等の情報処理

システムエンジニアが保健所に常駐し、情報の収集・分析等を実施

#### ②患者搬送や検体回収

タクシー事業者や貨物事業者等の専門業者に業務委託し、患者搬送や検体回収を実施

#### ③健康観察

看護師資格等の保有者を雇用している人材派遣会社へ業務委託し、健康観察を実施

# 体制強化後の対応力

## ● 組織体制強化に伴う対応力

### ① 1日21人の新規陽性患者に対応

厚生労働省が示す「ピーク時における最大需要」  
＝新規陽性患者21人/日（北九州市）が、  
3日連続で発生しても対応が可能な体制

### ② 検査能力の強化

- ・ 検体採取体制の強化
- ・ 検体回収体制の構築
- ・ 検査機器の増強

# 検査能力の強化

## 検体採取

- アウトリーチの強化によるクラスター対策の強化
  - ・嘱託医師1名の採用
  - ・夜間・休日急患センター等の看護師(13名)の活用

## 検体回収

- 貨物事業者へのアウトソーシングにより、迅速な回収と早期の検査結果の提供体制の構築
  - ・平日、土曜日の回収ルートを増加

## 検査機器の増強

- PCR検査機器の導入補助金の活用促進により、検査能力を増強。  
約350件/日 → 約600件/日  
\* 今後、市内での大規模流行時には1,000件/日に対応できる体制強化を目指す。

## 新たな検査手法の推進

唾液による検体採取や抗原キットの活用など、新たな検査手法の推進による上積みを目指す。  
現在、北九州市医師会と、積極的な活用を進めていく方向で協議中。